

## ふれあい松戸川

シビルNPO 連携プラットフォーム(CNCP)理事・事務局長

内藤 堅一



私は千葉県松戸市に住んでいる。松戸市は東京都の東端の江戸川の対岸にある。歌謡曲で有名になった「矢切の渡し」は寅さんの映画で有名になった東京都の葛飾柴又から松戸市矢切を結んでおり、今でも健在である。私は1970年(昭和45年)に松戸市に自宅を購入したが、通勤族で実際に住むようになったのは1994年(平成6年)からである。松戸市のまち歩きの会で2009年(平成21年)初めて知ったのが「ふれあい松戸川」である。

江戸川には沢山の水道の取水口があるが、支流の一つである汚れた坂川の水をこれらの取水口の上流で江戸川に合流させないことと、同時に浄化してきれいにした水を江戸川に放流することを目的に作られた河川浄化施設である。私の散歩道にある「六間川」が逆流しているのに気がついていて、見学して話を聞くまでは、なぜ逆流するのか理解できなかった。この機会に土木遺産というにふさわしいかは別にして紹介してみたい。

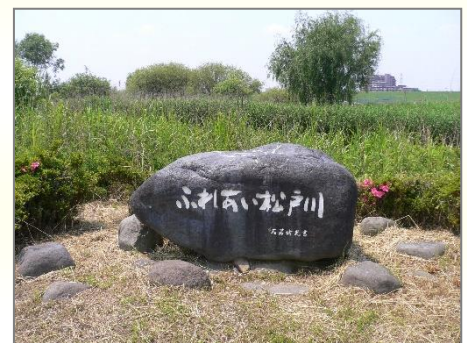
### ふれあい松戸川

江戸川、手賀沼、大堀川、坂川の水質が悪化したため、水質浄化のためにいろいろな策がとら

れたが、特に効果があったものが、利根川からの導水であった。北千葉導水で利根川の水を手賀沼、大堀川、坂川に供給すると共に、各所に浄化装置を作った。さらに坂川の水害対策も含めて「清流ルネッサンス 21 江戸川・坂川事業」を行った。その一つが「ふれあい松戸川」である。この事業は1993年から2000年まで行われた。以下ページの図を見ながら読んでいただきたい。古ヶ崎排水機場で六間川から水をポンプアップして、江戸川河川敷の地下にあるフラワーラインに水を入れ、きれいになった水が「ふれあい松戸川」に流れる。「ふれあい松戸川」の戻り口から上流の坂川、六間川は古ヶ崎排水機場まで逆流している。河川勾配がほとんどないので、戻り口の堰と送水、古ヶ崎排水機場のポンプアップで逆流できている。戻り口から下流の坂川が水道の取水口の下流で江戸川に合流している。



浄化施設から流れ出るふれあい松戸川



江戸川の脇を流れるふれあい松戸

## 「ふれあい松戸川」の目的

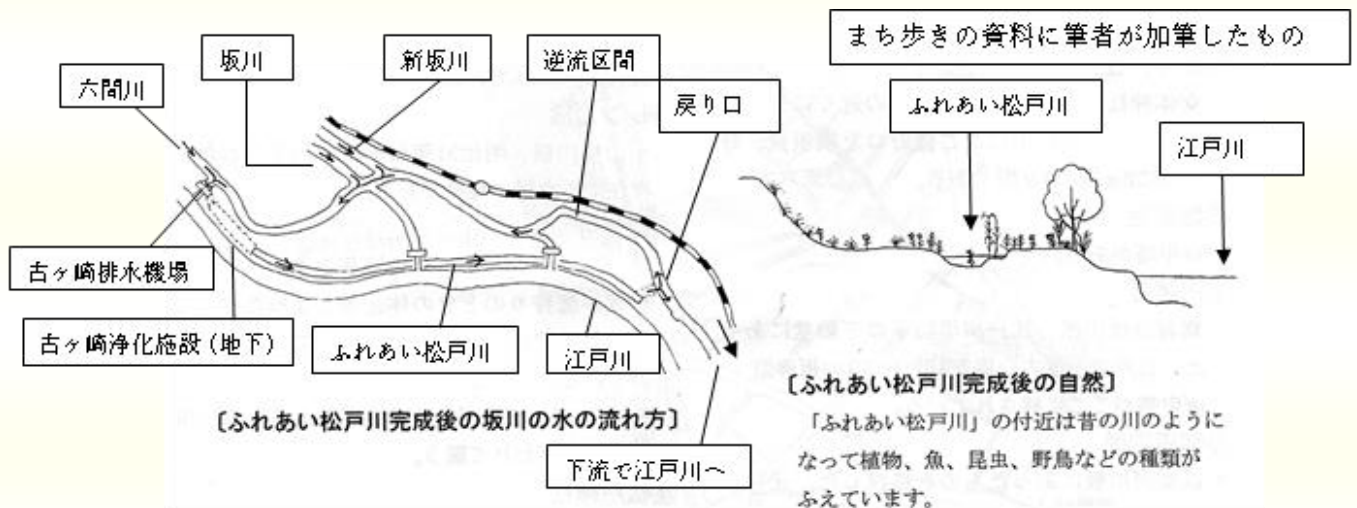
- ① 江戸川から水道水に適した安全な水を取水できるようにする。
- ② 有害な物質が江戸川に流れないようにする。
- ③ 豊かな自然環境を持った場所を作る。

## 「ふれあい松戸川」の考え方

- ① 自然な川の姿にする。
- ② 江戸川の自然環境にマッチさせる。
- ③ 人間の関与を最小限にして自然の推移に任せる。

## 「ふれあい松戸川」の工事

- ① 河川敷を作る。
- ② ふれあい松戸川を作る。
- ③ 古ヶ崎浄化施設を作って坂川の水を浄化する。
- ④ 坂川、新坂川、六間川の水の流れを変える。
- ⑤ 古ヶ崎浄水場、金町浄水場、栗山浄水場の取水口に坂川の水を入れない様に、坂川の江戸川への落口を、これら浄水場の下流にする。



坂川上流部からみた右奥の戻り口と落差工  
落差工から手前上流側に逆流している



坂川下流部から見た戻り口の状況  
右側は坂川の上流部で落差工を利用して逆流  
している。左側が下流で浄化された水が江戸  
川に向かう



11年前のまち歩き資料から、原稿を作成した。その後、現在がどうなっているのか確認するために古ヶ崎排水機場から戻り口、松戸神社まで歩いてみた。ふれあい松戸川の起点に浄化施設から水が流れ出ていない、戻り口の落差工がなくなっているのに気づき、国交省江戸川河川工事事務所に問い合わせしてみた。

現在赤塚樋門のラバーゲートが壊れているので、松戸市と調整中で、変則的な運転をしているとの説明であった。詳細は聞けなかったが北千葉導水のお陰で坂川がかなりきれいになり、浄化しなくても良いのかもしれない。

この図はまち歩きの資料に筆者が加筆したものである

## ふれあい松戸川

